

《令和6年度 研究会活動紹介》

研究会名	代表者氏名
室町期における諸宗兼学仏教の研究会	大橋 雄人
研究会名 略称:十勝研	所 属:大正大学 非常勤講師
活動紹介	
【活動内容】 当研究会は、日本室町期の仏教研究について、特に当時新たに興隆した諸宗兼学・融合思想を提唱した旭蓮社澄円(1290—1372)の思想について、主著『浄土十勝節箋論』(以下『十勝論』)、①書き下しの作成、②出典注を施す、という作業を通じて澄円の思想を明らかにしていく。この作業は毎年『総合佛教研究所年報』に掲載して発表していく予定である。 最終的な目標としては、作成した『浄土十勝論』の影印・書き下し文・出典注をまとめた本文篇と、参加研究員の個人研究をまとめた研究篇の出版を考えている。	
【活動実績】 ※出版/論文/受賞・研究助成の経歴など ・『綜佛年報』に翻刻・書き下しの成果を掲載(平成22年度～令和5年度) ・大橋雄人「澄円『浄土十勝論』序文・跋文の執筆者について」(『仏教文化学会紀要』23) ・大橋雄人「澄円『浄土十勝論』における引用文献について」(『仏教文化学会紀要』24) ・大橋雄人「澄円『浄土十勝論』の成立過程について」(『仏教文化学会紀要』25)	
【令和6年度活動計画】 ・各自の分担により書き下しの下作業を終了、出典確認作業を進める。 ・各自テーマを設定し、個人研究を進める。 ・並行して出版に向けての編集作業を進める。	